

事業概要

平成30年度

社会保険診療報酬支払基金富山支部

目 次

1	事業概況	1
2	幹事、参与及び幹事会	13
3	審査委員及び審査委員会	17
4	契約の履行状況	18
5	保険医療機関(保険薬局)の状況	19
6	平成30年度種別診療報酬支払確定件数・金額及び対比表	20
7	月別取扱件数及び金額	22

例 言

- 1 本概要は、平成30年度における事業状況を収載したものである。
- 2 単位未満の数字は四捨五入を原則とした。したがって、総計と内容の計とは必ずしも一致しないことがある。
- 3 本概要中「医療保険」として一括掲載した計数は、協会けんぽ(「日雇特例」を含む。)、船員保険、共済組合及び健保組合(「特定健保組合」を含む。)の合計を示したものである。

1 事業概況

(1) 一般状況

ア 支払基金の現況

社会保険診療報酬支払基金は、これまで国民の皆様にご信頼される審査支払の専門機関として、診療報酬の「適正な審査」と「迅速な支払」を通じ、医療保険制度を支えることを基本理念に掲げ取り組んできました。

平成30年度における事業運営の基本方針については、今後の改革の具体的な取組内容を明らかにした「審査支払機関改革における支払基金での今後の取組」に沿って平成30年度に実施すべき取組を進めていくこと及び新システム稼働までの間における現行の業務処理体制の下での「従前より進めている取組」をさらに推進していくことを両軸としました。

具体的には、関係者の審査に対する信頼を確保するため、更なる原審査の充実を図り、再審査査定割合を減少させるという考えのもと、「支部独自に設定されたチェックルールの見直し」、「返戻査定理由等の明確化」、「効率的・効果的な審査事務」、「審査実績の分析及び評価の強化」「審査におけるPDCAサイクルの実施」、「審査結果に関する的確な説明の実施」、「職員による業務研修の充実」、「審査委員との連携の強化」等、審査委員及び職員が一丸となって取組みました。

あわせて、個人情報等重要情報を管理するため、支払基金情報セキュリティポリシーを遵守し、情報保護管理体制の強化と業務処理の事故防止に努めました。

診療報酬等の迅速・適正な支払等については、保険者財政の厳しい中、保険者並びに公費実施機関のご理解とご協力により、納期までに収納し保険医療機関等への支払を完了しました。

このように、富山支部の業務全般が円滑に運営できたことは、ひとえに関係者のご理解とご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

引き続き、支払基金に課せられた公的使命を十分に認識し、関係者からの信頼の維持・向上に努める所存でありますので、今後ともなお一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

イ 支部における取組状況

(ア) 審査事務

- a 重点審査A区分の医療機関のうち、原審査及び再審査の査定点数を勘案し、特に審査事務を重点化すべき医療機関を審査事務区分特Aと

設定し、入院・入院外別に選定しました。

- b 職員の審査事務能力と医療機関の難易度を勘案し、職員の審査事務能力に応じた適切な審査事務分担を設定しました。
- c 診療科の特性にも着目し、診療科を絞り診療科の専門的な知識を有効に活用できるよう職員単位による診療科別分担を実施しました。
- d 審査事務に当たっては、担当する医療機関の過去の審査実績を踏まえ、審査事務に要する時間を適切に配分するとともに、特に重点審査事務区分特A及びAについては、担当審査委員の出席予定日を事前に把握するなど計画的な審査事務の実施に努めました。
- e 重点対象医療機関、審査専門部会分及び入院レセプト、更には、電子付せんが貼付されたレセプトの審査事務を優先して実施しました。
なお、医科の電子レセプトは、「重点化対象外レセプト機能」を活用し、審査事務すべきレセプトを絞り込み、効果的な審査事務の実施に努めました。
- f レセ電の効率的な審査事務を実施するため、レセプト電算処理システムの点検条件登録機能を有効活用した審査事務の実施に努めました。
- g コンピュータチェック対象とならない項目は、医療機関（診療科）の特性を踏まえ、レセプト電算処理システムの審査支援機能（抽出、集計等）を活用した審査事務の実施に努めました。
- h 原審査・再審査査定点数の目標を医療機関（診療科）ごと及び個人ごとに設定し、的確なPDCAを実施し、目標達成に向け取り組みました。
- i 二次点検については、「原審査の充実」を図るため、審査委員会への提出前に十分な時間を確保し、原審査査定点数及び再審査査定点数の上位医療機関（診療科）から選定した医療機関のレセプトを対象（主に入院分レセプト）に実施しました。なお、診療科別グループ（内科、外科、整形外科、産婦人科）別に、診療科別グループリーダー等審査事務に精通した者2名を実施者としております。
- j DPCレセプトの出来高部分については、診療科別グループにより点検条件登録の事例から選定した「DPC一括抽出事例一覧」をもとに一括抽出のうえ、重点的な確認を実施しました。また、「DPC審査事務補助ツール」により診断群分類番号の確認を実施するとともに「DPC支部補助ツール」により出来高部分の確認を実施しました。
- k 医療機関による桁間違い等の誤入力（異常値）を発見するため、DPC医療機関等の医療機関を対象とした支部システムにおいて、統計

的手法を用いて異常値となる誤請求事例の発見に努めました。

(イ) 審査委員と職員の連携強化

- a 「審査事務重点対象医療機関等（診療科）」については、原審査・再審査の情報を整理し、事前に審査委員から審査事務のポイントについて指示・助言を受け、点検条件登録するなど、緊密な連携のもと審査事務の強化に努めました。
- b 審査結果について、これまでの審査結果から疑義があると思われる事例又は理解不足と思われる事例については、担当審査委員に対して積極的に照会し、医学的知識の習得に努めました。
- c 審査事務等において、理解できないものについては、審査委員に指導を求め、的確な説明や指導・指示を受けることにより、審査事務能力の向上に努めました。
- d 職員が審査委員と協議した事項等については、指示連絡票を作成し、登録することにより、情報を共有し、審査の充実に努めました。

(ウ) 審査委員間及び支部間の不合理な差異の解消

- a 再審査査定事例の原審査診療科担当審査委員へのフィードバックを的確に実施し、原審査と再審査の整合性が図られるよう取り組みました。
- b 同一診療科の審査委員間で取扱いに差異がある事例については、診療科別グループのリーダーが中心となり、同一診療科の審査委員間で統一が図られるよう検討・協議の働きかけを行い、取扱いが一致した事例は、審査取決事項システムに登録し情報の共有化を図るとともに、支部の点検条件への反映に努めました。
- c 原審査における審査返戻レセプトについては、主任審査委員による確認の結果、返戻から査定及び返戻解除となったレセプトについて原審査診療科担当審査委員へのフィードバックを的確に実施し、原審査と再審査の整合性が図られるよう取り組みました。
- d 「審査に関する支部間差異解消のための検討委員会」から提示される検討事例及び確認事例について検討・協議を行い、差異解消に取り組みました。

(エ) 職員研修

職員研修については、平成 30 年度支部研修計画に基づき、審査事務能力の向上を図るため、①主任審査委員等による研修（医学的専門知識の解説、審査事務のポイント及び再審査査定事例の解説）②中央研修資料を活用した研修、③D P C 研修など、担当職員の習得度に応じた研修を計画的かつ段階的に実施しました。

また、全国一斉の理解度の把握を1回（平成30年10月、医科・DPC・歯科及び平成30年10月、調剤）実施し、その結果に基づく職員個々の審査事務能力に応じたフォローアップ研修を実施し、職員の審査事務能力の向上に努めました。

(ウ) 再審査査定割合の減少

- a 入院分については、手術、特定保険医療材料等、高額査定に繋がる診療内容を中心に重点的に審査事務を実施し、高点数の再審査査定の発生防止に努めました。
- b 入院外の再審査査定に対応するため、再審査査定事例の点検条件登録等を推進し、入院外レセプトの審査の充実に努めました。
- c 保険者等から請求があったレセプトの再審査処理については、審査事務を担当した職員の責任の明確化を図り、綿密な審査事務を実施するため、再審査請求レセプトの再審査事務から再審査処理後の確認まで行う一貫した処理を実施しました。
- d 保険者からの再審査申出については、職員による点検・確認を実施し、請求理由が不明確なものについては、保険者に照会するなど請求理由の明確化に努めました。
- e 再審査処理において一概に審査決定することが困難な事例で、診療内容から判断して医療機関に症状詳記を求める必要があると思われる事例は、医療機関に対する症状詳記を求める文書照会（レセプトの写しの添付）を行い、再審査処理の適正化に努めました。
- f 再審査部会終了後のレセプトは、診療科別グループによる全件確認を実施し、確認の結果、審査判断に疑義があると思われる事例については「質問票（付せん）」を貼付して、主任審査委員等への確認に努めました。

また、査定となったレセプトについては、係ごとに係長等が責任区分及び内容の確認を行い、審査判断に疑義があると思われる事例については、同様に主任審査委員等への確認に努めました。

- g 再審査査定事例の原審査診療科担当審査委員へのフィードバックを的確に実施し、原審査と再審査の整合性が図られるよう取り組みました。
- h 毎月、開催される全国健康保険協会富山支部、全国健康保険協会石川支部及び健康保険組合との審査結果に関する打合せ会において、原審どおりの理由、算定ルール及び審査上の考え方等を分かりやすく説明するなど審査結果について理解が得られるよう取り組みました。

(カ) 審査状況（P7「支払基金富山支部における審査状況」参照）

a 平成30年度において、原審査については前年度に対して件数は上回り、点数は下回る実績でありました。

また、突合点検については、前年度の実績を件数で上回り、点数で下回る状況でありました。縦覧点検については、件数、点数ともに下回る状況でありました。

b 再審査の状況については、まず保険者再審査においては、前年度に対し申出件数は増加となっています。

また、医療機関再審査については、前年度に対し、申出件数は減少しております。

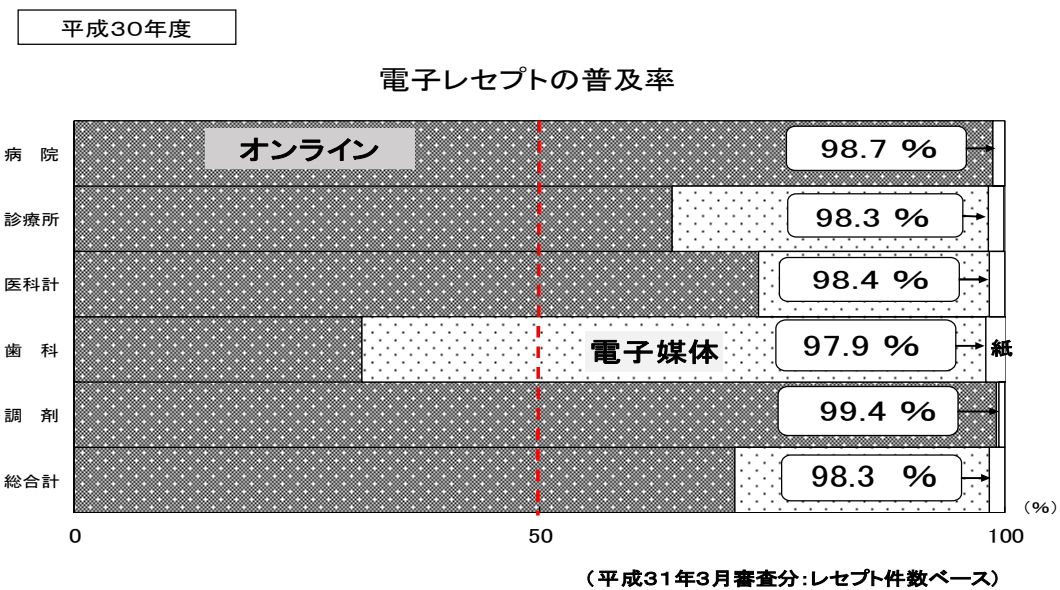
c 突合再審査については、前年度に対し査定状況は件数及び点数ともに増加を示しており、審査返戻が件数、点数ともに減少している状況です。

d 資格返戻については、オンライン請求の利点を活用し現在、請求前資格確認を協会けんぽ等の保険者に対して実施している状況であり、その効果により年々、申出件数については減少傾向となっております。

e 最下段の査定・返戻等の合計（点数）の111,983点（千点）については、対前年度比として、約16.87%の減少となっております。

(キ) 電子レセプトの請求及び普及状況

平成31年3月審査分における医療機関等の電子レセプトの請求件数は、約60万件で98.6%となっており、普及状況については、病院・診療所を含めた医科計が341,345件で98.4%、歯科が84,500件で97.9%、調剤が173,039件で99.4%となっています。



(ク) オンラインによる請求前資格確認の普及取組

「オンラインによる請求前資格確認」については、資格関係誤りレセプトに係る再審査請求の減少並びに被保険者資格の点検を行う保険者及び保険医療機関等の事務処理負担の軽減を図るため、平成 29 年度と同様に、共済組合及び健保組合の事務担当者等との打合せ会において、オンラインによる請求前資格確認の実施結果の状況及びメリットを説明し、普及促進に努めました。

当支部のオンラインによる請求前資格確認に係る平成 30 年 3 月末現在の実施状況については、協会けんぽのほか、健康保険組合については、実施が 8 保険者、未実施が 9 保険者であり、共済組合については全保険者が未実施の状況です。

支払基金における審査状況 平成30年度

(医科歯科計,全請求者分)

平成30年4月審査分～平成31年3月審査分

処理区分		全管掌分									
		件数	請求1万件 当たり件数	点数	請求1万点 当たり点数	対前年増減率					
						件数	請求1万件 当たり件数	点数	請求1万点 当たり点数		
		(件)	(件)	(千点)	(点)	(%)	(%)	(%)	(%)		
原 審 査	請求	5,246,839	-	9,763,985	-	2.5	-	2.5	-		
	査定	27,077	51.6	12,094	12.4	2.5	▲ 0.0	▲ 11.7	▲ 13.9		
	単月点検分	19,531	37.2	10,238	10.5	3.9	1.3	▲ 12.1	▲ 14.3		
	突合点検分	4,263	8.1	1,124	1.2	0.6	▲ 1.9	▲ 8.4	▲ 10.6		
	縦覧点検分	3,283	6.3	732	0.7	▲ 2.8	▲ 5.2	▲ 11.0	▲ 13.2		
保 険 者 等 の 申 出 に よ る 調 整	再 審 査	保 険 者	原審どおり	55,556	107.4	-	-	8.9	8.2	-	-
			単月点検分	34,694	67.1	-	-	7.5	6.9	-	-
			突合点検分	9,392	18.2	-	-	2.6	2.0	-	-
			縦覧点検分	11,470	22.2	-	-	19.3	18.6	-	-
		査定	10,605	20.5	3,752	3.9	10.4	9.7	▲ 4.5	▲ 6.7	
		単月点検分	4,808	9.3	1,712	1.8	15.8	15.1	▲ 4.8	▲ 7.1	
		突合点検分	2,921	5.6	774	0.8	33.4	32.6	10.9	8.3	
		縦覧点検分	2,876	5.6	1,266	1.3	▲ 11.9	▲ 12.5	▲ 11.6	▲ 13.6	
		審査返戻	181	0.3	1,467	1.5	▲ 28.7	▲ 29.2	▲ 56.4	▲ 57.4	
		単月点検分	105	0.2	927	1.0	▲ 31.8	▲ 32.2	▲ 57.5	▲ 58.5	
	突合点検分	6	0.0	9	0.0	▲ 14.3	▲ 14.8	▲ 81.7	▲ 82.1		
	縦覧点検分	70	0.1	530	0.5	▲ 24.7	▲ 25.2	▲ 53.0	▲ 54.1		
	計	66,342	128.3	-	-	9.0	8.3	-	-		
	医 療 機 関	原審どおり	931	1.8	-	-	▲ 11.3	▲ 11.9	-	-	
		査定	560	1.1	▲ 453	▲ 0.5	▲ 24.5	▲ 25.0	▲ 62.4	▲ 63.3	
		計	1,491	2.9	-	-	▲ 16.8	▲ 17.3	-	-	
	資 格 返 戻 等	資格返戻	6,310	12.0	22,142	22.7	▲ 21.5	▲ 23.4	▲ 3.6	▲ 6.0	
		事務返戻	907	1.7	4,194	4.3	▲ 10.3	▲ 12.5	▲ 79.1	▲ 79.6	
		その他	6,888	13.1	68,788	70.5	46.1	42.4	▲ 4.3	▲ 6.7	
	査定・返戻等の合計(点数)		-	-	111,983	-	-	-	▲ 16.9	-	

注1:「請求1万件(点)当たり件数(点数)」は、原審査請求件数(点数)に対するものである。ただし、再審査の「請求1万件(点)当たり件数(点数)」は、4～6か月前平均原審査請求件数(点数)に対するものである。
 2:「査定・返戻等の合計(点数)」は、原審査査定及び保険者等の申出による調整の点数の合計である。

(ケ) 地方単独医療費助成事業の受託

地方単独医療費助成事業の審査支払業務の受託に向けた取組みについては、8月から3月にかけて県、県内市町村の担当者に対し訪問懇談及び県主催の福祉医療費請求書電子化に関する打合せ会に出席し、基金に委託した場合のメリット及び基金が受託している自治体の全国の医療費助成事業に係る審査支払業務の受託状況等について説明を行いました。

その結果、平成31年4月診療分以降、乳幼児医療、ひとり親家庭医療及び重度心身障害者医療について全市町村分を受託することとなりました。

(コ) 関係者団体等との打合せ状況

毎月、保険者が主催する打合せ会等に積極的に参加し、再審査事例を解説するなど説明責任の履行に努めました。

3月に健康保険組合との打合せ会及び共済組合等との打合せ会を開催し、医療保険制度を支える支払基金の存在意義が理解されるよう、支部独自の各種取組みや審査実績等について状況報告を行いました。

(ク) 情報セキュリティ関係

a 社会保険診療報酬支払基金情報セキュリティポリシーの理解を深め、事故の未然防止及び事故発生後における被害の局所化を図る目的について、全職員に周知・徹底を行いました。

b 業務上、重要かつ膨大な個人情報を取扱うことから、情報セキュリティポリシーの厳格な運用を図るため、平成30年9月から10月にかけて職員、新任審査委員及び臨時職員を対象として情報漏えい等の未然防止に関する認識度を確保するとともに、「情報セキュリティポリシーに基づく教育・訓練等」を実施し、認識不足の点についてフォローアップを実施しました。

(2) 幹事会の運営状況

ア 保険者代表、被保険者代表、診療担当者代表及び公益代表各2名の幹事8名と参与3名の計11名で構成され、原則、毎月第2週の木曜日に開催しました。

イ 議題については、毎月、理事会の議題のうち幹事会で協議（報告）すべき重要な事項を選定するほか、自支部の最重要課題（原審査充実方策に係る取組み、支部の審査実績等）についても議題とするなど、支部が積極的に取り組んでいる事項について説明を行うとともに、幹事会において、出された意見・要望等が支部の事業運営に反映できるよう取り組みました。

ウ 説明資料は、支部定例報告を含めパワーポイントにより作成するととも

に、支部の審査実績等については、全国と比較して状況の推移等を示すなど、分かり易い説明に努めました。

(3) 審査委員会の運営状況

ア 審査委員会は、定数 60 名（医科 48 名、歯科 9 名、調剤 3 名）をもって構成し、審査所定日数は 4 日間、開催時期は概ね 17 日から 31 日までの間に開催し、審査委員会会期の最終日の第 2 次審査において、審査委員の合議による当月審査分の審査決定を行いました。

イ 審査従事時間の確保を図るため、審査委員のニーズに合わせた審査応需体制等の充実に努めました。

ウ 各種委員会等の運営状況は、次のとおりです。

(ア) 審査運営委員会は、審査委員会初日と会期後に開催し、審査委員会の運営に関する事項、審査関係諸会議の協議事案に関する事項、審査方法に関する事項、国保連合会との連絡調整に関する事項、その他審査全般に関する重要な事項及び審査結果の確認に関する事項等について協議を行い、審査委員会の円滑な運営に努めました。

(イ) 審査専門部会は、5 万点（DPC は 8 万点）以上の高点数明細書について重点的な審査を行うとともに、特に、診療内容が複雑多岐となっている 20 万点以上の明細書は、更に入念な審査を行うため、複数の審査専門部会員による審査を実施し、審査の充実に努めました。

(ウ) 再審査部会は、処理期間の標準化を図るため、月初に開催し、保険者及び保険医療機関から再審査申出された事案について、迅速・適正な処理に努めました。

(エ) 審査研究会は、審査の適正・充実に並びに審査委員間の差異解消を図るため、毎月開催し、審査に関する諸規程、通達、疑義解釈等の周知徹底に努めました。

(4) 診療報酬の収入状況

ア 委託金

平成 30 年度の委託金については、政令により診療報酬の 0.15 か月分相当額とされており、これに基づき平成 30 年 4 月に調整を行った結果、追加請求となった健保組合が 4 組合、返還を行った組合数は健保組合が 2 組合でありましたが、保険者各位の理解と協力により、平成 30 年 4 月末日に返還・収納が完了しました。

なお、共済組合につきましては、請求、返還はありませんでした。

イ 診療（調剤）報酬

委託金及び診療報酬等の収納状況は、保険者の財政状況が厳しい中、保

険者並びに関係方面のご理解とご協力により、納期内に 100%の収納となりました。

(5) 診療（調剤）報酬の支払状況

診療報酬等の支払については、年間支払計画に基づき、各月分とも納入の翌日（原則として診療翌々月の 21 日）に支払いました。

(6) 確定件数及び金額の状況

ア 平成 30 年度の確定件数は約 731 万件で、前年度と比較すると 3.2%の増であり、医科では 2.8%の増、歯科では 3.7%の増、調剤では 4.8%の増となりました。

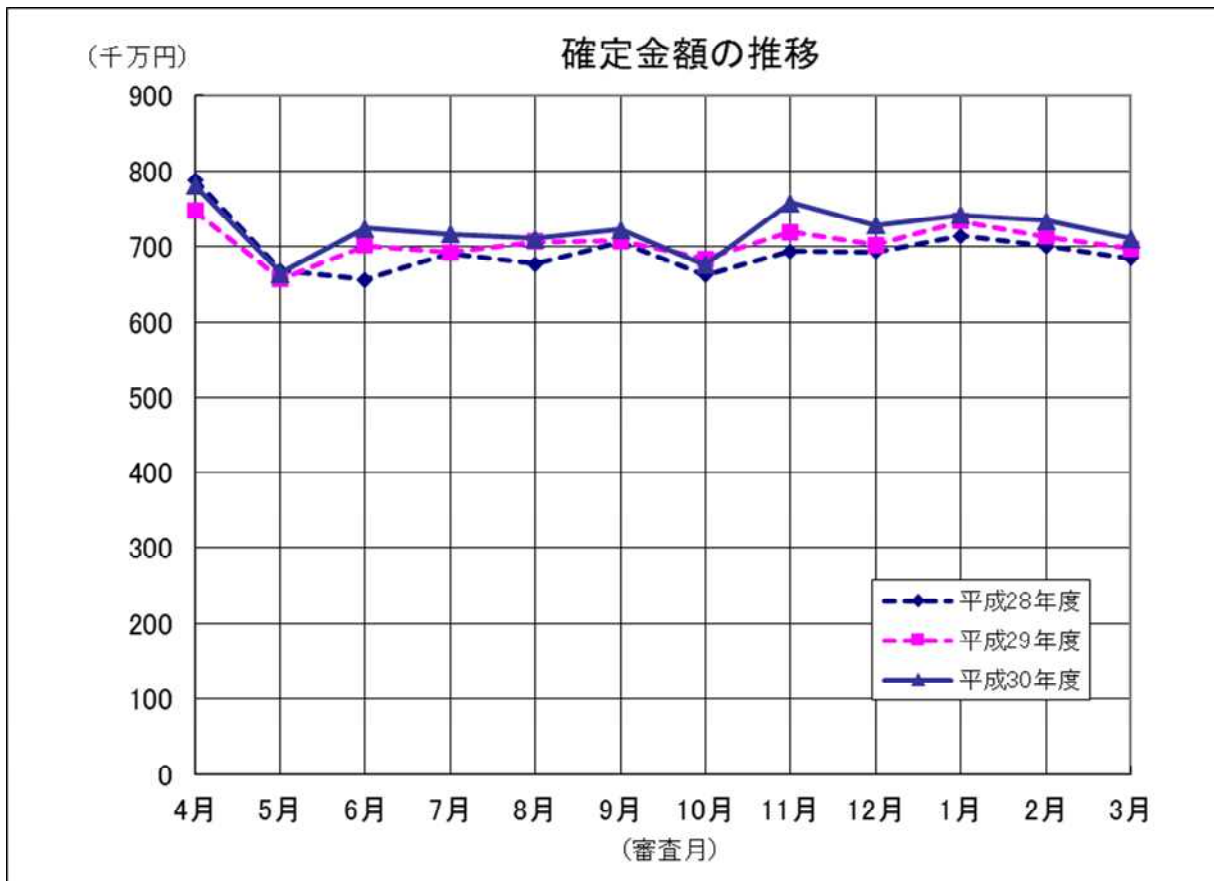
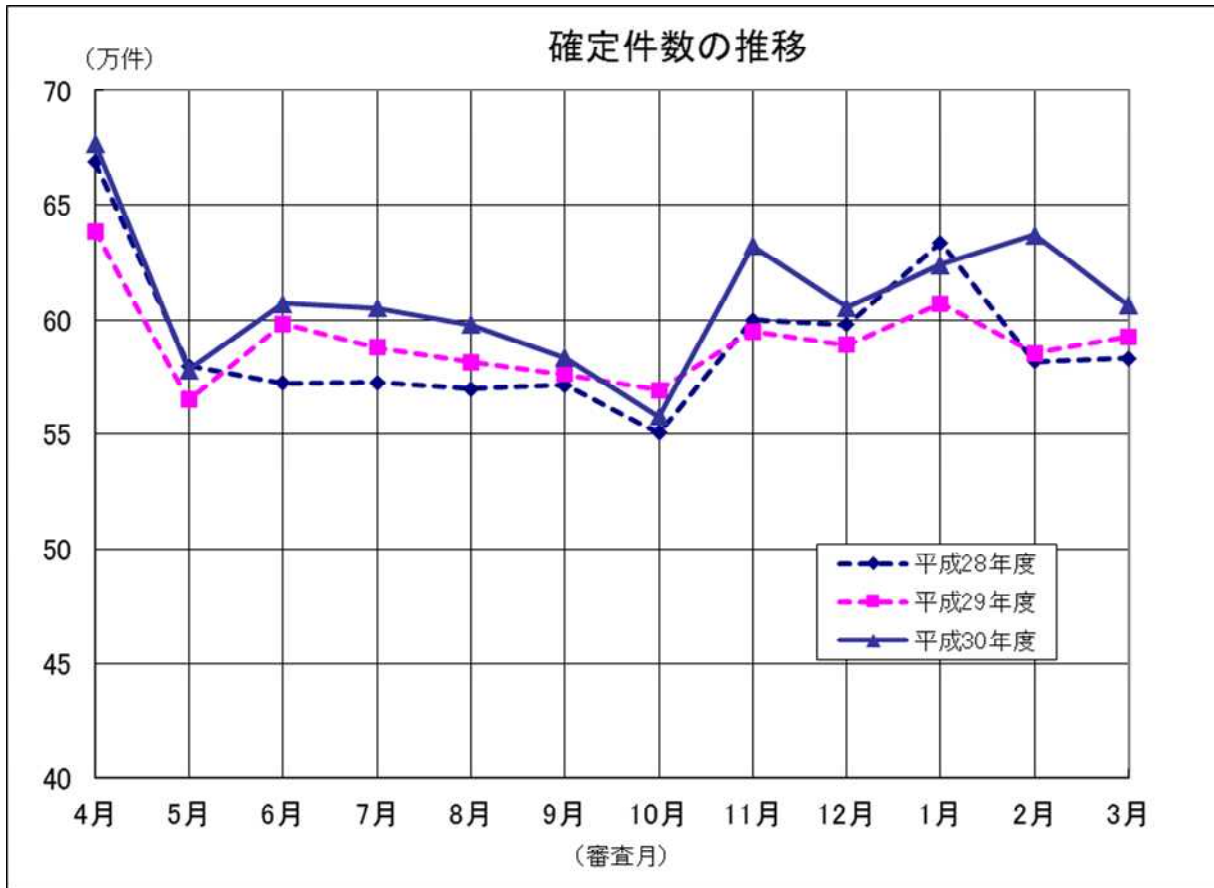
イ 確定金額は約 866 億円で、前年度と比較すると 2.5%の増であり、医科では 2.8%の増、歯科では 4.6%の増、調剤では 0.5%の増となりました。

ウ 月平均確定件数は約 60 万件、金額は約 72 億 2 千万円となっており、特に、平成 30 年 3 月分（4 月処理分）件数は約 67 万 7 千件、金額については平成 30 年 3 月分（4 月処理分）約 78 億円と、平成 30 年度の最高となりました。

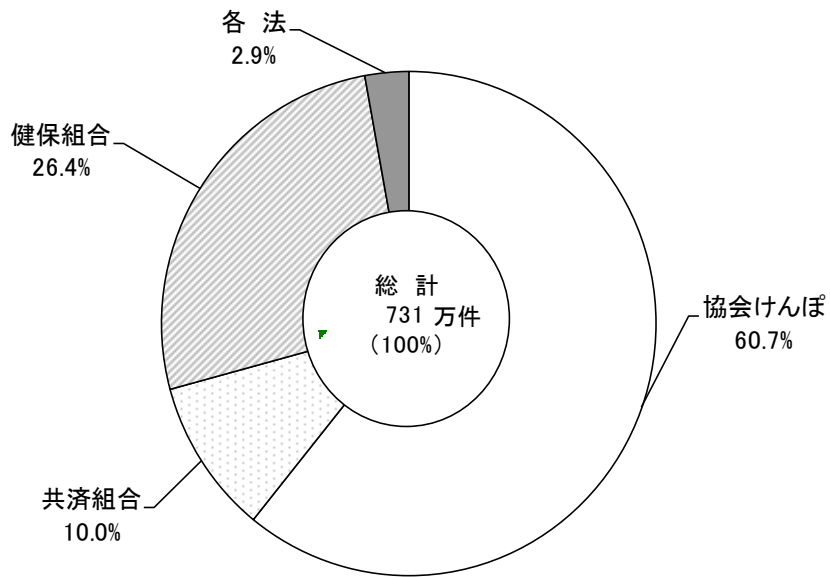
年度別取扱件数及び金額の推移

区分 年度	件 数		金 額	
	実 績 (件)	前年度対比 (%)	実 績 (千円)	前年度対比 (%)
26	6,661,392	101.7	78,764,975	101.2
27	6,850,364	102.8	82,029,814	104.1
28	7,082,830	103.4	83,333,278	101.6
29	7,086,452	100.1	84,574,531	101.5
30	7,312,539	103.2	86,663,879	102.5

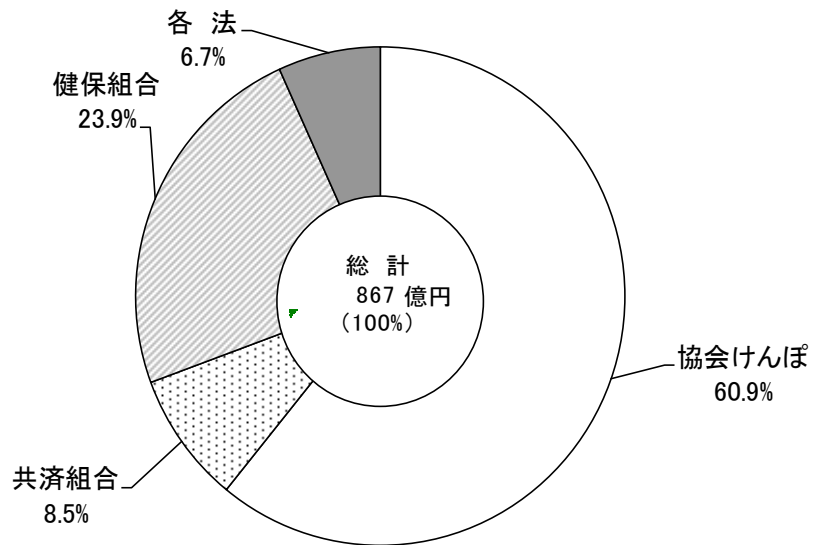
過去3年間の月別確定件数・確定金額の推移



平成30年度 管掌別取扱件数の割合



平成30年度 管掌別取扱金額の割合



2 幹事、参与及び幹事会

(1) 年度内異動役員

区分	役員別	代表別	氏名	異動年月日	職名又は所属団体名
解嘱	幹事	保険者	小田原 健二	30. 8. 31	北陸電力健康保険組合常務理事
	〃	公益	鏡 森 定 信	30. 8. 31	独立行政法人労働者健康福祉機構 富山産業保健総合支援センター所長
	参与		川 西 直 司	30. 9. 30	富山県厚生部健康課長
委嘱	幹事	保険者	大上戸 克己	30. 9. 1	YKK健康保険組合常務理事
	〃	公益	中 林 美 奈 子	30. 9. 1	富山大学院医学薬学研究部地域看護学准教授
	参与		五 十 里 栄	30. 4. 1	富山県厚生部厚生企画課長
	〃		川 西 直 司	30. 4. 1	富山県厚生部健康課長
	〃		川 津 鉄 三	30. 10. 1	富山県厚生部健康課長

(2) 平成30年3月31日現在役員

役員別	代表別	氏名	委嘱年月日	職名又は所属団体名
幹事	保険者	松 井 泰 治	27. 10. 1	全国健康保険協会富山支部支部長
	〃	大上戸 克己	30. 9. 1	YKK健康保険組合常務理事
	被保険者	西 村 博 邦	24. 9. 1	富山県社会保険委員会連合会会長
	〃	辻 政 光	29. 11. 1	日本労働組合総連合会富山県連合会会長
	診療担当者	炭 谷 哲 二	29. 7. 13	富山県医師会副会長
	〃	山 崎 安 仁	29. 6. 1	富山県歯科医師会会長
	公益	羽 田 聖 司	29. 4. 1	社会保険診療報酬支払基金富山支部支部長
参与		五 十 里 栄	30. 4. 1	富山県厚生部厚生企画課長
		川 津 鉄 三	30. 10. 1	富山県厚生部健康課長
		西 尾 公 秀	26. 7. 1	公益社団法人富山県薬剤師会会長

(3) 幹事会開催状況

回次	年月日	場所	出席役員数	主要議題
793	H30. 4. 12	富山支部	7 人	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年4月期の人事異動について 2 参与の委解嘱について 3 審査支払機関改革における支払基金での取組状況について (平成29年度取組状況) 4 平成30事業年度特別会計予算、事業計画及び資金計画(案)について 5 平成30事業年度社会保障・税番号制度会計事業計画及び収入支出 予算(案)について 6 社会保険診療報酬支払基金退職者医療関係業務方法書の一部変更 (案)について 7 内部監査結果報告について (平成29年度下半期) 8 社会保険診療報酬支払基金定款の変更の認可について 9 平成29事業年度特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特 別会計予算、事業計画及び資金計画の変更の認可について
794	H30. 5. 10	富山支部	8	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年事業年度一般会計及び特別会計の予算等の認可について 2 平成29事業年度病床転換助成事業特別会計予算等の変更の認可に ついて 3 社会保険診療報酬支払基金退職者医療関係業務方法書の一部変更 の認可について 4 平成29年度監事監査振り返り及び平成30年度監事監査計画につい て 5 平成29年度内部監査振り返り及び平成30年度内部監査方針・計画 について
795	H30. 6. 7	富山支部	7	<ol style="list-style-type: none"> 1 公益代表役員の公募について 2 平成30年度委託金の状況について 3 平成29年度診療報酬等債権譲渡・差押等処理状況について
796	H30. 7. 12	富山支部	7	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成29事業年度事業状況及び決算(案)について 2 理事会の議事録の取扱い(案)について 3 本部監事監査結果報告について 4 青森支部監事監査結果報告について 5 平成29年度診療報酬等確定状況について (平成29年4月診療分～平成30年3月診療分) 6 平成29年度の審査状況について (平成29年5月審査分～平成30年4月審査分) 7 平成29年度特別審査委員会の取扱い状況について (平成29年5月審査分～平成30年4月審査分)

回次	年月日	場所	出席役員数 人	主要議題
797	H30. 8. 9	富山支部	10	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年6月理事会議事録の公表（案）について 2 役員を選任（案）について 3 公益代表役員の公募について 4 平成29事業年度後期高齢者医療等特別会計の決算の承認について 5 岩手支部監事監査結果報告について 6 監事意見に対する取組の進捗状況について
798	H30. 9. 13	富山支部	7	<ol style="list-style-type: none"> 1 幹事の委解嘱について 2 公益代表役員の選任（案）について 3 役員選任の認可について 4 第14次審査情報提供（歯科）について 5 平成30年7月豪雨に伴う被災医療機関等の概算請求状況（6月診療分に係る確定状況及び7月診療分に係る請求状況）について 6 医療保険と障害者総合支援法による更生医療（法別「15」）の併用分における中間所得層の患者に係る高額療養費の算出誤りに伴う精算処理の終了について
799	H30. 10. 18	富山支部	8	<ol style="list-style-type: none"> 1 参与の委解嘱について 2 役員選任の認可について 3 参与の選任について 4 審査事務の集約に向けた実証テストの中間報告について 5 平成30年7月豪雨に伴う被災医療機関等の概算請求状況（7月診療分に係る確定状況）について 6 第19次審査情報提供（医科）について 7 長崎支部監事監査結果報告について
800	H30. 11. 8	富山支部	7	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年北海道胆振東部地震に伴う概算請求状況について（8月診療分に係る確定状況及び9月診療分に係る請求状況） 2 医療費の動向について～被用者保険等分～（平成30年4月～6月診療分：医科・歯科・調剤） 3 基金関係功績者に対する厚生労働大臣表彰について 4 内部監査結果報告（平成30年度上半期）について 5 特別審査委員会における審査対象レセプトの拡大について 6 審査の充実に向けた平成30年度前期の取組状況及び後期の取組みについて 7 資格関係誤りレセプトの発生防止強化期間（平成30年10月～平成31年1月）の取組みについて

回次	年月日	場所	出席役員数	主要議題
801	H30.12.13	カナルパークホテル富山	6人	<ol style="list-style-type: none"> 1 役員選任の認可について 2 「第1回規制改革推進会議 医療・介護WG」によるヒアリングについて 3 平成30年北海道胆振東部地震に伴う被災医療機関の概算請求状況について 4 監事意見書の提出について 5 地方単独医療費助成事業の受託に向けた取組み状況について 6 未コード化傷病名の解消に向けた取組みについて
802	H31.1.10	富山支部	8	<ol style="list-style-type: none"> 1 理事長の選任等について 2 審査事務の集約に向けた実証テストの実施結果の報告について 3 「平成30年3月末現在における診療報酬等収支整理不能額」の処理について 4 広島支部監事監査結果報告について 5 情報保護管理の徹底について
803	H31.2.7	富山支部	7	<ol style="list-style-type: none"> 1 規制改革推進会議「第5回規制改革推進会議 医療・介護WG」について 2 社会保険診療報酬支払基金定款の一部変更（案）について 3 平成31事業年度支払基金審査支払手数料等について 4 監事意見に対する回答について 5 監事意見に対する取組の進捗状況について 6 熊本支部監事監査結果報告について
804	H31.3.14	富山支部	8	<ol style="list-style-type: none"> 1 理事長特任補佐の選任（案）について 2 平成31（2019）事業年度一般会計事業計画（案）について 3 平成31事業年度一般会計収入支出予算（案）について 4 平成30事業年度特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計予算、事業計画及び資金計画の変更（案）について 5 保険者との契約の改定（案）について 6 第20次審査情報提供（医科）及び第15次審査情報提供（歯科）について 7 平成32年度新規職員採用計画について 8 和歌山支部監事監査結果報告について 9 社会保険診療報酬支払基金定款の変更の認可について

3 審査委員及び審査委員会

(1) 年度内異動委員

代表別 区 別	診療担当者	保 険 者	学識経験者
年 度 当 初	20名	20名	20名
解 嘱	0名	1名	0名
委 嘱	0名	1名	0名
年 度 末	20名	20名	20名

(2) 審査委員会開催状況

月 別 区 別	30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月
審 査 期 間	自 20 日 至 25 日	自 24 日 至 29 日	自 22 日 至 27 日	自 26 日 至 31 日	自 23 日 至 28 日	自 21 日 至 27 日	自 25 日 至 30 日	自 22 日 至 28 日	自 19 日 至 25 日	自 24 日 至 29 日	自 22 日 至 27 日	自 22 日 至 27 日
審査実施日数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
審査委員数	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	59
審査委員一人当 取 扱 件 数	11,359	9,740	10,205	10,170	10,052	9,799	9,366	10,622	10,169	10,484	10,680	10,174

4 契約の履行状況

種別 月別	協会けんぽ (船員)	共済組合				健保組合				感染症による県及び市	生活保護による市及び町村
		合計	主たる事務所	従たる事務所	従に準じるもの	合計	主たる事務所	従たる事務所	従に準じるもの		
平成30年4月	2	9	1	6	2	17	17	0	0	2	11
5月	2	9	1	6	2	17	17	0	0	2	11
6月	2	9	1	6	2	17	17	0	0	2	11
7月	2	9	1	6	2	17	17	0	0	2	11
8月	2	9	1	6	2	17	17	0	0	2	11
9月	2	9	1	6	2	17	17	0	0	2	11
10月	2	9	1	6	2	17	17	0	0	2	11
11月	2	9	1	6	2	17	17	0	0	2	11
12月	2	9	1	6	2	17	17	0	0	2	11
平成31年1月	2	9	1	6	2	17	17	0	0	2	11
2月	2	9	1	6	2	17	17	0	0	2	11
3月	2	9	1	6	2	17	17	0	0	2	11

備考 上記以外の各法分は、省略している。

5 保険医療機関（保険薬局）の状況

種別 月別	医 科		歯 科		調 剤		訪問看護ステーション	
	保 険 医 療 機 関	保 険 者 の 指 定 し た る も の	保 険 医 療 機 関	保 険 者 の 指 定 し た る も の	保 険 薬 局	保 険 者 の 指 定 し た る も の		
平成30年4月	718	0	456	0	429	0	50	
5月	722	0	456	0	429	0	50	
6月	724	0	458	0	432	0	54	
7月	724	0	457	0	431	0	56	
8月	722	0	458	0	430	0	55	
9月	724	0	459	0	431	0	56	
10月	727	0	455	0	435	0	54	
11月	726	0	457	0	436	0	57	
12月	725	0	455	0	446	0	57	
平成31年1月	726	0	459	0	441	0	56	
2月	723	0	455	0	447	0	56	
3月	実数	742	0	464	0	445	0	79
	請求数	725	0	449	0	444	0	53

備考 本表は、当月中に請求書の提出のあった医療機関等数を示したものである。

ただし、3月に掲げた「実数」は当月末現在の医療機関数である。

平成30年度 種類別診療報酬等確定件数・金額及び対比表

(件数)

平成30年3月診療分～平成31年2月診療分

(16) 富山支部

種別 管掌別	合計		医科入院		医科入院外		菌科		調剤		食事・生活療養費		訪問看護療養費		
	件数	前年度対比%	件数	前年度対比%	件数	前年度対比%	件数	前年度対比%	件数	前年度対比%	件数	前年度対比%	件数	前年度対比%	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	
協会けんぽ	4,443,068	103.3	42,092	100.4	2,496,100	102.4	646,503	104.1	1,256,668	104.8	36,956	100.6	1,705	110.2	
船員保険	3,994	97.1	50	94.3	2,227	96.7	505	97.7	1,202	97.7	42	95.5	10	100.0	
共済組合	729,672	103.1	6,303	98.6	414,520	102.3	108,567	103.3	199,906	104.9	5,080	97.8	376	112.2	
健保組合	1,927,479	103.0	16,902	97.0	1,080,600	102.2	287,880	103.1	541,255	104.9	14,142	97.9	842	130.5	
医療保険合計	7,104,213	103.2	65,347	99.3	3,993,447	102.4	1,043,455	103.7	1,999,031	104.8	56,220	99.6	2,933	115.6	
老人保健	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	7割	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9割	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
自衛官等	1,007	91.8	14	77.8	574	92.7	162	90.0	257	91.8	13	76.5	-	-	
生活保護	63,226	102.4	4,685	101.2	33,462	102.2	3,659	101.3	21,239	103.3	4,496	102.2	181	84.6	
戦傷病者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
自立支援	85,527	105.8	1,352	109.9	54,389	104.4	430	91.7	28,719	108.3	206	91.6	637	116.0	
児童福祉	643	99.1	503	102.0	140	89.7	-	-	-	-	470	108.3	-	-	
原爆医療	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
精神保健	103	141.1	103	145.1	-	-	-	-	-	-	101	144.3	-	-	
麻薬取締	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
母子保健	303	70.8	303	70.8	-	-	-	-	-	-	266	70.0	-	-	
中国残留邦人等	176	100.6	1	16.7	97	107.8	6	75.0	72	101.4	1	16.7	-	-	
感染症	700	138.1	31	72.1	500	136.6	-	-	169	172.4	18	75.0	-	-	
医療観察	449	117.5	366	108.3	66	150.0	-	-	9	-	-	-	8	-	
肝炎治療	2,564	91.6	11	73.3	571	83.1	-	-	1,982	94.6	-	-	-	-	
老人被爆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
特定疾患等	339	112.6	10	250.0	238	109.2	4	133.3	87	114.5	4	80.0	-	-	
小児慢性	8,205	104.9	485	115.5	4,796	101.3	5	45.5	2,745	107.4	358	115.1	174	174.0	
措置等医療	1,636	115.7	53	126.2	1,075	117.1	104	110.6	404	112.2	47	142.4	-	-	
難病医療	43,320	94.6	1,455	110.5	22,867	93.0	38	158.3	18,586	95.1	27	5.5	374	113.0	
特定B型肝炎	77	148.1	-	-	77	148.1	-	-	-	-	-	-	-	-	
石綿救済	51	91.1	3	50.0	27	103.8	-	-	21	87.5	3	50.0	-	-	
自治体医療	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
総計	7,312,539	103.2	74,722	99.8	4,112,326	102.3	1,047,863	103.7	2,073,321	104.8	62,230	99.0	4,307	115.4	
被保険者	協会けんぽ	2,253,211	104.1	19,384	100.4	1,246,230	103.3	352,510	103.8	634,880	105.9	17,404	100.5	207	98.1
	船員保険	1,208	96.0	6	50.0	640	95.7	227	104.1	335	93.3	6	75.0	-	-
	共済組合	397,846	102.9	3,477	97.7	223,482	102.1	61,110	103.4	109,721	104.6	2,909	97.3	56	76.7
	健保組合	966,480	104.1	8,142	98.0	530,786	103.6	152,743	102.8	274,697	106.3	7,277	98.4	112	99.1
	医療保険合計	3,618,745	104.0	31,009	99.4	2,001,138	103.2	566,590	103.5	1,019,633	105.9	27,596	99.6	375	94.5
被扶養者	協会けんぽ	1,562,221	101.2	14,727	99.4	896,713	100.2	221,387	103.6	428,084	102.2	11,857	99.5	1,310	111.7
	船員保険	1,925	100.6	20	80.0	1,119	100.1	216	105.4	560	100.9	13	65.0	10	100.0
	共済組合	316,525	103.7	2,657	101.8	182,413	102.9	45,714	103.3	85,434	105.7	2,009	100.8	307	119.0
	健保組合	862,732	101.9	7,513	94.8	495,231	100.9	123,216	103.3	236,083	103.6	5,664	96.2	689	138.6
	医療保険合計	2,743,403	101.7	24,917	98.2	1,575,476	100.7	390,533	103.5	750,161	103.0	19,543	98.6	2,316	119.5
	未就学者(再掲)	815,408	100.9	8,549	99.9	491,128	100.0	84,832	104.7	230,091	101.6	5,271	101.5	808	107.2
前期高齢者	7割	518,300	101.4	6,283	98.2	289,989	100.6	63,095	103.6	158,779	102.1	6,049	98.0	154	112.4
	一般	223,765	116.3	3,138	111.2	126,844	115.8	23,237	116.2	70,458	117.3	3,032	111.6	88	135.4

(注) 1. 合計欄は、食事・生活療養費を除く件数とその対比である。
 2. 老人保健の7割・9割とは給付率の違いであり、7割は一定以上所得者、9割はそれ以外の者が対象である。
 3. 前期高齢者欄の7割・一般とは給付率の違いであり、7割は65歳以上70歳未満の被保険者と被扶養者及び70歳以上75歳未満の現役並み所得者、一般はそれ以外の者が対象である。
 なお、前期高齢者一般については、「70歳代前半の被保険者等に係る一部負担金等の軽減特例措置」分を含まない。

平成30年度 種類別診療報酬等確定件数・金額及び対比表

(金額)

平成30年3月診療分～平成31年2月診療分

(16) 富山支部

種別	合計		内科入院		内科入院外		菌科		調剤		食事・生活療養費		訪問看護療養費			
	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比		
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%		
管掌別																
合 計	協会けんぽ	52,680,484	102.4	17,719,451	102.3	21,117,240	102.7	5,039,644	105.4	8,509,347	100.8	208,328	73.5	86,475	128.2	
	船員保険	43,287	95.3	12,919	75.1	18,527	122.2	4,363	97.3	7,191	87.2	193	79.4	95	91.1	
	共済組合	7,402,528	103.0	2,200,503	105.1	3,197,298	103.1	759,725	102.9	1,202,095	99.4	23,291	69.8	19,618	131.1	
	健保組合	20,682,063	102.4	6,556,620	103.9	8,494,406	101.8	2,126,349	103.4	3,395,728	100.7	67,242	71.4	41,717	180.4	
	医療保険合計	80,808,363	102.4	26,489,492	102.9	32,827,471	102.5	7,930,080	104.6	13,114,361	100.6	299,054	72.8	147,905	140.0	
	老人保健	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		7割	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		9割	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛官等	18,174	110.6	11,679	171.2	3,766	59.3	1,520	89.4	1,116	75.8	93	112.1	-	-	
	生活保護	3,352,865	104.0	2,119,493	107.6	585,800	97.2	61,888	102.0	388,462	97.4	181,513	102.4	15,709	107.1	
	戦傷病者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自立支援	977,974	99.7	218,474	107.1	566,194	97.1	3,324	105.8	158,995	99.7	8,294	91.6	22,694	104.5	
	児童福祉	54,017	107.2	40,799	101.4	685	116.0	-	-	-	-	12,533	131.1	-	-	
	原爆医療	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	精神保健	27,500	137.2	23,684	134.4	-	-	-	-	-	-	3,817	158.1	-	-	
	麻薬取締	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母子保健	33,869	74.8	28,510	72.5	-	-	-	-	-	-	5,358	89.3	-	-	
	中国残留邦人等	3,631	67.0	379	18.0	1,465	93.7	103	151.1	1,665	102.1	18	38.6	-	-	
	感染症	4,484	131.1	2,752	145.3	1,269	123.3	-	-	143	132.0	319	82.3	-	-	
	医療観察	569,717	106.0	558,370	105.4	10,647	135.7	-	-	76	-	-	-	624	-	
	肝炎治療	45,827	77.0	506	149.2	7,366	70.6	-	-	37,956	77.8	-	-	-	-	
	老人被爆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特定疾患等	5,732	134.7	233	...	4,243	120.6	8	31.4	1,198	183.5	50	277.6	-	-	
	小児慢性	143,784	99.4	26,597	111.7	70,541	92.0	5	8.7	43,310	103.6	1,165	82.0	2,165	249.7	
	措置等医療	15,518	129.7	6,854	133.0	5,267	130.7	635	98.2	1,790	131.1	972	126.6	-	-	
	難病医療	605,293	106.1	96,962	112.3	237,152	105.9	119	326.4	260,103	104.0	902	23.9	10,054	157.8	
	特定B型肝炎	400	143.7	-	-	400	143.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石綿救済	1,735	91.8	253	54.9	1,374	101.8	-	-	39	67.5	69	328.3	-	-		
自治体医療	-3	351.2	-	-	-3	351.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
総計	86,668,879	102.5	29,625,037	103.3	34,323,638	102.3	7,997,682	104.6	14,009,214	100.5	514,158	82.7	199,151	133.4		
被保険者	協会けんぽ	25,732,178	102.6	7,971,061	102.2	10,482,129	103.0	2,902,398	104.8	4,278,600	101.6	79,498	71.0	18,492	134.4	
	船員保険	10,625	95.2	2,130	73.0	4,414	107.1	2,311	121.3	1,739	79.6	30	90.4	-	-	
	共済組合	4,238,252	104.4	1,242,077	110.2	1,834,844	104.0	460,562	102.5	683,639	97.7	12,514	75.7	4,617	124.7	
	健保組合	11,013,575	104.0	3,368,709	106.5	4,498,336	103.8	1,232,635	103.4	1,876,810	101.5	31,121	71.2	5,965	133.6	
	医療保険合計	40,994,630	103.2	12,583,978	104.1	16,819,723	103.3	4,597,906	104.2	6,840,788	101.2	123,162	71.5	29,074	132.6	
被扶養者	協会けんぽ	16,242,795	100.1	5,455,111	99.6	6,793,313	100.5	1,470,456	105.3	2,391,560	98.0	79,578	75.3	52,778	115.8	
	船員保険	15,343	91.9	3,831	60.0	7,432	125.7	1,432	91.6	2,512	94.9	41	45.4	95	91.1	
	共済組合	2,943,176	103.1	882,445	103.0	1,284,219	103.0	284,060	103.9	468,765	103.1	9,630	68.3	14,057	127.7	
	健保組合	8,035,605	100.4	2,493,779	98.9	3,436,808	100.0	791,158	104.5	1,257,441	102.2	28,230	68.6	28,189	168.5	
	医療保険合計	27,236,919	100.5	8,835,167	99.7	11,521,772	100.6	2,547,105	104.9	4,120,278	99.8	117,479	73.0	95,119	129.5	
	未就学者(再掲)	7,536,469	101.9	2,719,875	103.6	3,465,650	100.8	470,129	109.8	831,025	96.8	13,944	68.2	35,847	130.2	
前期高齢者	7割	8,334,540	100.5	3,346,350	103.1	2,964,851	99.3	546,558	103.3	1,426,092	96.5	36,167	71.5	14,523	238.0	
	一般	4,242,274	112.6	1,723,998	111.8	1,521,125	115.6	238,511	113.4	727,204	109.2	22,246	81.5	9,189	220.7	

(注) 1. 老人保健の7割・9割とは給付率の違いであり、7割は一定以上所得者、9割はそれ以外の者が対象である。
 2. 前期高齢者欄の7割・一般とは給付率の違いであり、7割は65歳以上70歳未満の被保険者と被扶養者及び70歳以上75歳未満の現役並み所得者、一般はそれ以外の者が対象である。
 なお、前期高齢者一般については、「70歳代前半の被保険者等に係る一部負担金等の軽減特例措置」分を含まない。
 3. 数値は、突合点検による原審査結果を反映したものである。

平成30年度 月別取扱件数及び金額

(件数) (16) 富山支部

種別 月別	総計 件	審査及び支払事務を取扱うものの										
		医療保険 件	老人保健 件	自衛官等 件	生活保護 件	戦傷病者 件	自立支援 件	児童福祉 件	原爆医療 件	精神保健 件	麻薬取締 件	母子保健 件
総計	7,312,539	7,104,213		1,007	63,226		85,527	643		103		303
30年 3月	677,152	659,891		116	5,173		6,947	56		5		40
4月	578,206	561,647		73	5,105		6,764	50		7		16
5月	607,201	589,889		86	5,231		7,114	50		6		27
6月	605,286	588,137		73	5,317		7,039	52		7		23
7月	598,194	580,704		58	5,381		7,146	57		6		17
8月	583,472	565,702		111	5,274		7,171	52		11		37
9月	557,745	540,940		76	5,103		6,930	46		5		18
10月	632,177	614,520		75	5,447		7,222	52		6		29
11月	605,637	587,889		69	5,459		7,321	65		7		30
12月	624,117	606,210		100	5,315		7,295	56		18		28
31年 1月	636,918	619,254		99	5,187		7,426	52		16		21
2月	606,434	589,430		71	5,234		7,152	55		9		17

種別 月別	審査及び支払事務を取扱うものの											
	中国残留邦人等 件	特定疾患等 件	小児慢性 件	措置等医療 件	難病医療 件	特定B型肝炎 件	老人被爆 件	感染症 件	医療観察 件	肝炎治療 件	石綿救済 件	自治体医療 件
総計	176	339	8,205	1,636	43,320	77		700	449	2,564	51	
30年 3月	14	26	781	151	3,594	8		66	34	246	4	
4月	13	28	593	132	3,460	7		74	35	197	5	
5月	16	25	651	127	3,654	4		83	35	198	5	
6月	16	28	686	98	3,463	7		75	38	222	5	
7月	14	27	684	120	3,660	3		72	40	200	5	
8月	15	23	820	122	3,801	10		65	37	216	5	
9月	10	27	634	108	3,520	1		77	38	209	3	
10月	16	28	591	144	3,737	7		35	39	223	6	
11月	16	24	670	168	3,610	7		39	38	222	3	
12月	20	25	790	198	3,776	6		42	40	194	4	
31年 1月	16	36	670	136	3,698	5		42	37	221	2	
2月	10	42	635	132	3,347	12		30	38	216	4	

平成30年度 月別取扱件数及び金額

(金額)

(16) 富山支部

種別 月別	総計 千円	審査及び支払事務を取扱うものの										
		医療保険 千円	老人保健 千円	自衛官等 千円	生活保護 千円	戦傷病者 千円	自立支援 千円	児童福祉 千円	原爆医療 千円	精神保健 千円	麻薬取締 千円	母子保健 千円
総計	86,668,879	80,808,363		18,174	3,352,865		977,974	54,017		27,500		33,869
30年 3月	7,809,668	7,310,780		6,844	276,928		88,333	4,423		1,206		4,009
4月	6,645,589	6,192,529		406	261,782		72,560	4,248		1,157		1,788
5月	7,238,838	6,706,464		599	316,098		90,955	4,091		956		3,282
6月	7,163,044	6,677,986		1,780	280,068		82,884	4,252		2,286		2,412
7月	7,102,298	6,610,288		1,102	283,519		84,311	4,848		1,771		2,030
8月	7,228,161	6,718,265		2,772	294,415		83,504	4,487		1,640		4,142
9月	6,758,832	6,291,783		658	272,443		71,893	3,784		1,788		1,998
10月	7,579,666	7,084,058		409	281,841		79,702	4,357		2,088		3,472
11月	7,281,750	6,791,657		762	274,032		85,123	5,734		1,915		3,193
12月	7,416,267	6,920,838		579	282,785		79,344	4,735		4,226		3,344
31年 1月	7,342,814	6,853,402		1,432	273,703		79,748	4,408		5,158		2,553
2月	7,101,954	6,650,314		829	255,253		79,616	4,649		3,309		1,645

種別 月別	審査及び支払事務を取扱うものの											
	中国残留邦人等 千円	特定疾患等 千円	小児慢性 千円	措置等医療 千円	難病医療 千円	特定B型肝炎 千円	老人被爆 千円	感染症 千円	医療観察 千円	肝炎治療 千円	石綿救済 千円	自治体医療 千円
総計	3,631	5,732	143,784	15,518	605,293	400		4,484	569,717	45,827	1,735	-3
30年 3月	320	329	13,410	1,030	50,018	40		61	46,960	4,890	87	
4月	253	550	9,691	881	48,415	36		244	47,757	3,198	97	
5月	198	314	12,760	1,196	49,313	12		159	48,690	3,660	90	
6月	373	438	11,360	675	45,451	26		101	49,204	3,574	174	
7月	186	248	12,321	1,395	47,797	22		121	48,604	3,558	176	
8月	710	502	14,236	911	52,290	56		464	45,749	3,846	172	
9月	174	733	12,232	862	50,944	-5		505	45,528	3,345	169	-2
10月	291	462	10,944	3,111	55,102	58		168	49,580	3,710	313	
11月	255	543	12,431	1,905	50,070	33		299	49,586	4,028	184	-1
12月	493	341	12,853	1,176	53,636	34		302	47,871	3,614	96	
31年 1月	248	539	11,516	1,449	55,330	22		1,218	47,728	4,270	90	
2月	130	734	10,031	927	46,927	67		842	42,460	4,134	86	

(注) 数値は、突合点検による原審査結果を反映したものである。